

# 日当たり

窓は猫の好奇心を満足させるにふさわしい場所ですが、日光により適度に温度が上がる「暖かい場所」でもあります。出窓ならひなたぼっこするのに最適。



# 脱走を防ぐ

猫は好奇心などから隙あらば開口部から外に出ようとします。特に玄関やベランダなど人の出入りが多い場所には格子戸やネットでの脱走防止対策を考えましょう。



**窓や玄関など開口部に猫の好奇心が刺激されます！**

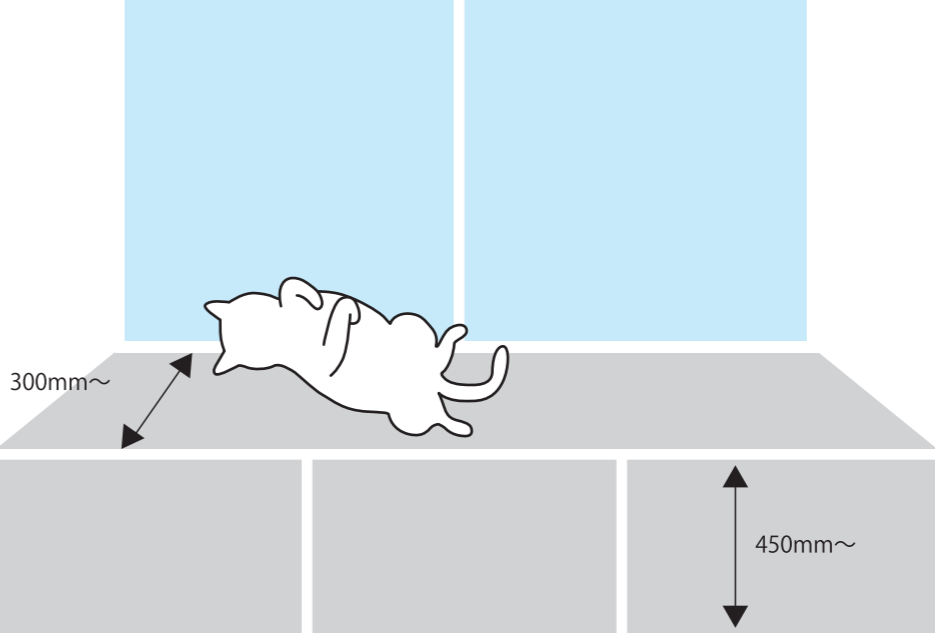
窓は猫にとって日差しが入りひなたぼっこできる場所でもあります。いろいろな刺激や誘惑があるところです。風に揺れる木々の枝や空を飛ぶ鳥、道行く人を見ることが猫は大好きです。

玄関は特に家族全員やお客さま、宅配などの業者などの出入りが激しいので、猫の脱走対策が必要な場所の筆頭です。玄関に続く廊下に天井まで塞がれている格子戸を付けるのが理想。格子のすき間は20mmにすれば子猫も通り抜けできませんが、成猫でも格子のすき間は50mm以下にすれば問題ありません。

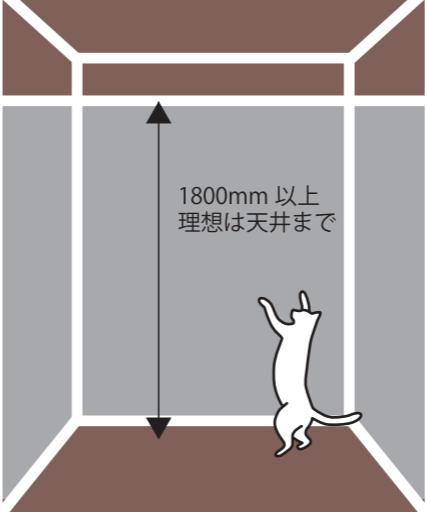
また、体長の5倍のジャンプ力がある猫なので、ベランダのフェンスなどは1800mm以上で作るべきですが、理想は天井まで囲う工夫を。

猫は予想できない行動をするので、脱走防止対策はすき間なく徹底的にふさぎましょう。

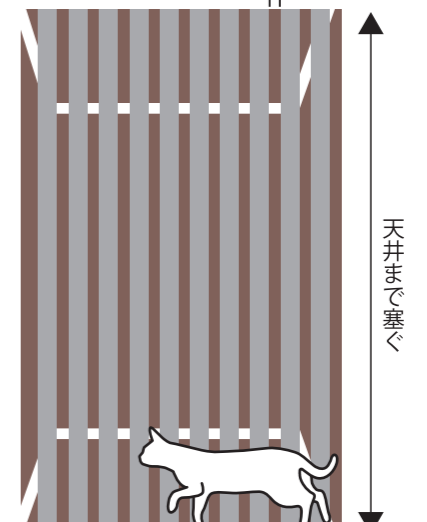
## 窓辺の採光



## ベランダのフェンス



## 二重扉



# 移動と運動

## キャットボックス

猫は狭いところに隠れる場所があると安心します。また、丸穴から猫が下を眺めることで刺激を得られ、飼い主も可愛い仕草を楽しめます。



## キャットウォーク

キャットウォークの幅は2匹の猫がすれ違う幅の250mm以上は確保すること。昇降する場所は2カ所以上確保する。部屋の中央に設置するより壁際が安心するようです。



## キャットステップ

キャットステップの上下の間隔は猫の年齢や運動能力を考慮して決めるべきですが、一般的な猫の場合、350~400mmを目安に。



## ステップボックス

キャットステップをボックス型にすることで、本棚や飾り棚としての機能を持たせることもできます。ボックスの背が高くなるほどステップの上下差が高くなるので注意。



## 猫も飼い主も満足するキャットウォークを

室内暮らしの猫の欲求を満たし、なおかつストレスがかからないように居住空間に工夫を凝らしたい。そんなときの代表的なのがキャットタワーの設置です。横の動きもさせたい場合は、さらに、キャットウォークを設置しましょう。猫の生態や行動に合った安心で、安全な場所になるよう計画をしましょう。

キャットウォークの直線距離が長いと猫が全力疾走して危険です。最長3000mm以下にし、途中でキャットボックスを設置することで猫の疾走を抑制できる上、猫のくつろぎの場所にもなります。

ステップボックスは本などの積載荷重と猫の荷重がかかるので、落下防止に壁にしっかりと固定しましょう。吹き抜けなどの高い場所に取り付ける場合は、猫の吐瀉物や抜け毛の掃除がしやすい上、病気の猫の捕獲ができませんので、検討が必要です。

## 住居の工夫

